

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	422,226千円	520,539千円	668,454千円	0千円
	総人件費	31,048千円	23,012千円	22,906千円	
	総事業コスト	453,274千円	543,551千円	691,360千円	

部等名	課等名	係等名
生活環境部	水道工務課	施設整備係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
-	01	01	01	-	建設改良費 施設整備費(工事請負費)

事務事業名	01	上水道施設新設事業				指標名	水道の普及				指標種別	活動結果指標				指標の概要	整備工事延長																								
戦略プラン	-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	-	-	-																										
実績	-	-	-	-	実績	18,393m	27,000m	13,900m																																	
総合戦略	-	-	-	-	H28年度				H29年度				その他の指標	-																											
個別計画	-	改善目標				計画的な幹線整備を行う。				改善目標					計画的な幹線整備を行う。																										
根拠法令等	-	事業計画				・配水管布設工事 75mm～300mm 総延長22,700m, 総事業費788,559千円にて実施 ・実施設計委託 75mm～100mm 総延長7,600m, 総事業費36,871千円にて実施				事業計画				・配水管布設工事 75mm～500mm 総延長14,500m, 総事業費591,948千円にて実施 ・実施設計委託 75mm～500mm 総延長10,650m, 総事業費48,600千円にて実施																											
事業分類	G	建設等事業				活動実績				・配水管布設工事 75mm～500mm 総延長13,900m, 総事業費469,130千円にて実施 ・実施設計委託 75mm～500mm 総延長6,300m 総事業費21,880千円にて実施				上半期活動実績				-																							
執行体制	一部委託				成果				・新設配水管を布設することにより, 安全で安定した上水道の普及を図り, 地域住民の生活環境並びに公衆衛生の向上に資する。				上半期成果				-																								
事業の目的	・TX沿線開発区域内及び要望等を基に新設配水管布設を実施して, 安全安心な水道水を供給するため。				課題				周辺地区の整備を進めるため, 計画的に幹線整備をする必要がある。				課題				-																								
事業の概要	・TX沿線開発事業の進捗に合わせた施設整備をおこなう。 ・水道未整備地区からの要望を基に施設整備を実施する。				事業の進捗状況				達成				改善目標の進捗状況				達成																								
ISO 14001	H28 環境関連性	地球温暖化の防止				達成				建設工事等の現場周辺の住民の生活環境の保全を図るとともに, 建設工事等の円滑化に寄与する。				有効性				中: 適切な成果が得られている																							
		地球温暖化の防止				達成				建設工事等の現場周辺の住民の生活環境の保全を図るとともに, 建設工事等の円滑化に寄与する。				効率性				中: 適切な費用対効果が得られている																							
	H29 環境関連性	地球温暖化の防止				達成				建設工事等の現場周辺の住民の生活環境の保全を図るとともに, 建設工事等の円滑化に寄与する。				総合評価				B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施																							
事業実施コスト		H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	事業費(A)		422,226千円	520,539千円	668,454千円	0千円	国庫支出金		125,086千円	151,941千円	213,516千円	0千円	県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円	地方債		151,988千円	162,907千円	199,440千円	0千円	その他特財		139,158千円	195,751千円	250,342千円	0千円	一般財源		5,994千円	9,940千円	5,156千円	0千円
人件費(B)		31,048千円	23,012千円	22,906千円	正職員		従事割合	4.00人	3.00人	3.00人	時間外勤務		500.00時間	390.00時間	350.00時間	臨時職員等		無	無	無	事業コスト(A+B)		453,274千円	543,551千円	691,360千円	H30年度当初積算根拠		-													
H30年度当初積算根拠		理由				-																																			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	46,837千円	77,200千円	75,600千円	0千円
	総人件費	23,118千円	23,118千円	23,153千円	
	総事業コスト	69,955千円	100,318千円	98,753千円	

部等名	課等名	係等名
生活環境部	水道工務課	管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
-	01	01	02	-	営業費用 配水及び給水費(修繕費)

事務事業名	01 上水道管路修繕事業				指標名	有収率				指標種別	活動結果指標				指標の概要	有収率 料金徴収の対象となった水量を給水実績水量で除したもの。						
	戦略プラン	-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	-			-	-				
総合戦略	-	-	-	-	実績	91.7%	92.12%	91.85%														
個別計画	-				H28年度				H29年度				その他の指標				-					
根拠法令等	-				改善目標	突発的に発生する漏水等の緊急工事に対しては、緊急工事協力業者と連携を密にし、迅速な復旧により漏水量の低減に努めます。また、有収率91.78%以上を目指します。				改善目標	突発的に発生する漏水等の緊急工事に対しては、緊急工事協力業者と連携を密にし、迅速な復旧により漏水量を低減する。				事業実施コスト				H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
事業分類	F 施設等維持管理事業				事業計画	・配水管等修繕工事：50,000千円 ・消火栓等修繕工事：9,000千円 工事費計：59,000千円				事業計画	・配水管等修繕工事：64,800千円 ・消火栓等修繕工事：10,800千円 工事費計：75,600千円				事業費(A)	46,837千円	77,200千円	75,600千円	0千円			
執行体制	職員のみ				活動実績	・配水管等修繕工事：106件 69,594千円 ・消火栓(室含む)修繕工事：10件 7,606千円 修繕工事計：116件 77,200千円				上半期活動実績	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業の目的	漏水による事故の防止と建造物の騒音、振動を改善し、水道の安定供給及び水道施設の機能を確保するため。				成果	断水等の被害を回復し、安定した水道の供給ができた。また、事故等の二次被害及び騒音や振動等の被害をなくし生活環境が確保された。				上半期成果	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業の概要	配水管等の漏水及び弁室・弁筐等の破損等、緊急に対応しなければならない事態が発生した際に、あらかじめ請負単価契約を締結している緊急工事業者を選定し、発注する				課題	経年劣化等の修繕費用は年々増加することから予算の確保が重要である。また、事業の特殊性から知識と経験を有する職員の確保及び育成が必要である。				課題	-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円			
ISO 14001	H28環境関連性	-	-	-	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円					
	H29環境関連性	-	-	-	有効性	中：適切な成果が得られている			有効性	-			一般財源	46,837千円	77,200千円	75,600千円	0千円					
					効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-			人件費(B)	23,118千円	23,118千円	23,153千円						
					総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-			正職員	3.00人	3.00人	3.00人						
													内訳	従事割合	3.00人	3.00人	3.00人					
													時間外勤務	312.00時間	312.00時間	325.00時間						
													臨時職員等	無	無	無						
													事業コスト(A+B)	69,955千円	100,318千円	98,753千円						
													H30年度当初積算根拠	-								
													H30年度の方向性	-	理由	-						

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	315,225千円	250,420千円	243,730千円	0千円
	総人件費	23,118千円	22,805千円	22,848千円	
	総事業コスト	338,343千円	273,225千円	266,578千円	

部等名	課等名	係等名
生活環境部	水道工務課	管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
-	01	01	02	-	建設改良費 施設改良費(工事請負費)

事務事業名		02 上水道管路改良事業		指標名	工事延長				指標種別	活動結果指標		指標の概要	改良工事延長
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度		
総合戦略		- - - -		実績	1,824m	1,400m	960m	-				その他の指標	-
個別計画		-		H28年度				H29年度					
根拠法令等		-		改善目標	予定している工事及び業務委託を第一四半期内に発注し年度内完了を目指す。				改善目標	-			
事業分類		F 施設等維持管理事業		事業計画	・配水管布設替工事費:99,663千円 ・設計業務委託費:19,278千円				事業計画	・配水管布設替工事費:237,200千円 ・設計業務委託費:6,530千円			
執行体制		職員のみ		活動実績	・配水管布設替等工事:延長 約1.0km 総工事費:59,130千円を2工区(内1工区繰越)にて実施 ・実施設計等委託:延長 約0.9km 総委託費 13,141千円を3工区(内1工区繰越)にて実施 ・消火栓設置工事:1基 総消火栓工事費 454千円を1工区にて実施				上半期活動実績	-			
事業の目的		・漏水の防止と出水不足を解消し,水道の安定供給及び水道施設の機能を確保するため。		成果	配水管布設替工事を実施したことにより,水道の安定供給が図れた。				上半期成果	-			
事業の概要		管路改良実施整備計画及び現状(漏水頻度及び出水不良の苦情等)をもとに,実施設計を作成し,配水管布設替等の工事を行う。		課題	-				課題	-			
ISO 14001	H28 環境関連性	地球温暖化の防止 達成		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	-
	H29 環境関連性	地球温暖化の防止		評価	有効性	中:適切な成果が得られている		評価	有効性	-			
	建設工事等の現場周辺の住民の生活環境の保全を図るとともに,建設工事等の円滑化に寄与する。		評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-				
ISO 14001		地球温暖化の防止		総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-			
事業実施コスト		H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	事業費(A)		315,225千円	250,420千円	243,730千円	0千円	内訳	
国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円	地方債		0千円	248,000千円	0千円	0千円		
県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円	その他特財		0千円	0千円	0千円	0千円		
一般財源		315,225千円	2,420千円	243,730千円	0千円	人件費(B)		23,118千円	22,805千円	22,848千円			
正職員		従事割合	3.00人	3.00人	3.00人	時間外勤務		312.00時間	312.00時間	328.00時間			
臨時職員等		無	無	無	無	事業コスト(A+B)		338,343千円	273,225千円	266,578千円			
H30年度当初積算根拠		理由		-		理由		-		理由		-	